

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2014

August  
No.1030

8月

表紙 本高仮装パフォーマンス



本別町戦没者・戦災死没者追悼式

## 平和への誓い新たに

# 本別町戦没者・戦災死没者追悼式



献花を捧げる参列者

戦争による犠牲者の方々の冥福を祈り、恒久平和を願う「本別町戦没者・戦災死没者追悼式」が7月15日午前10時から、遺族や来賓など約50人が参列し、向陽町ふれあい交流館でしめやかに執り行われました。

## 7月15日 平和への誓い新たに

本別町では、日清・日露・第2次世界大戦の戦役で299人が、終戦直前の昭和20年7月15日には、米軍機による本別空襲で40人が犠牲になり、十勝最大の被災地となりました。

追悼式では、全町民に黙とうを呼び掛けたサイレンが吹鳴され、参列者全員で黙とうを捧げた後、高橋正夫町長が「戦後60有余年の歳月が矢のごとく過ぎ、時の流れは悲惨な戦争の記憶を風化させ、平和の尊ささえ忘れさせようとしています。現在もなお、武力による紛争が続くことを考えると、今こそ真剣に恒久平和の実現に努めるとき。あの悲惨な歴史を二度と繰り返さぬよう、町民とともに決意を新たにすることが今に生きる私たちに課せられた責務であり、最上の務めです」と式辞を述べ、方川一郎町議会議長、糸田達一社会福祉協議会会長、政木高治本別町遺族会会長らが追悼の言葉を送りました。

続いて参列者全員で献花を捧げ、犠牲者への冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

## 冥福と平和への 願いを込めて

追悼式に先駆け、戦没者・戦災死没者遺族会（政木高治会長）の会員7人が7月12日、戦争で亡くなった人の冥福と平和への願いを込めて、本別神社内にある戦没者慰霊碑の清掃を行いました。



慰霊碑の清掃をする遺族会員

## 本別空襲の悲劇と平和への思い

昭和20年7月15日に北海道内で5番目、十勝で最大の被害を受け、多くの町民が犠牲となった本別空襲から69年。戦争の傷跡は減りつつあるが、そこには決して忘れてはいけない過去と語り継いでいかなければならない事実がある。戦争を知らない世代の我々は、この悲劇を二度と繰り返さないためにこれから何ができるだろうか。



## ほんべつ学びの日 折風事業 資料館企画展 「7月15日本別空襲を伝える」

資料館企画展「7月15日本別空襲を伝える」北海道空襲とほんべつ」が7月1日、同館で始まりました。1階には本別空襲の写真や寄せ書きが書かれた日章旗、昨年取り壊されたJA本別町生産資材倉庫の着弾痕がある壁を切り取ったものなど貴重な資料が、2階には、北海道内で大きな空襲被害を受けた他の町の記録写真やパネル、戦争の記録を残す資料などのほか、戦争時代の生活を再現する家財道具などが展示されています。このほか、町内小中学生等を対象に本別空襲体験からの「語り部の会」も行われました。



戦争当時の生活を再現した展示

# 伝える

## 語り部

### 本別空襲当時子供だった体験者から 今の子供たちへメッセージ

本別空襲当時、子供だった2人が、7月8日から7月15日にかけて、社会科や道徳授業の一環で歴史民俗資料館を訪れた町内の小中学生に、語り部や展示説明を通じて、戦争の悲惨さや平和の尊さ、豊かな今の時代の有り難さについてメッセージを送りました。



今野保雄さん(80)  
朝日町

本別空襲にあった時は、小学4年生で、「米軍の飛行機が、浦幌の山の方から斜面ギリギリの低空飛行で飛んできて、本別の町に機銃を打ち込み、爆弾を雨のように落としていた」と空襲の状況を説明。自身は大きな木の下に逃げ込み無事であったが、叔父が、機銃で撃たれ、北見の病院に運んで手当てを受けたが、亡くなってしまった悲しい出来事があったことを語り、「燃え盛る本別町の光景が今でも忘れられない」「これからも戦争がないことを願っている」と話しました。



三枝金作さん(75)  
北6丁目

当時は6歳で押帯に住んでいたため、直接の体験は無いが、本別空襲の時、畑で飛んでいく飛行機を見ていて、隣のおばあさんに「早く隠れなさい」と怒られたことや、先輩たちが、召集令状がきて、いやとは言えず戦地に送られていった記憶を話しました。当時は貧しい生活で満足に食べられなかったことや、山から拾った木で自分たちの遊び道具を作って遊んだり、川遊びをして過ごした子どものころの経験を語り、「物にあふれる豊かな現代に感謝の気持ちを持ってください」と話しました。

### 本別中央小学校

本別中央小学校(帰山孝美校長・249人)の4年生39人が7月8日、当時小学4年生だった今野保雄さんより本別空襲体験の話聞いた後、資料館職員等から1階の本別空襲に関する貴重な展示品や2階で展示されている昔の生活を再現した家財道具などについて説明を受け、今と昔の生活環境の違いを実感しました。



昔の道具などに触れ、今と昔の違いを実感

銃弾痕を食い入るように見つめる子供たち

### 勇足小学校

勇足小学校(吉藤清孝校長・49人)が7月10日、1-3年生は資料館職員から戦争に関する絵本の読みかきかせを、4-6年生が今野保雄さんより本別空襲体験の話聞いたほか、本別空襲の悲惨さを伝える資料を見学し、平和の尊さを学びました。児童らは、寄せ書きの書かれた日章旗や空襲火災で溶けて固まったガラスなどの説明を真剣な表情で聞いていました。



寄せ書きの書かれた日章旗の説明を受ける子供たち



空襲の悲惨さを伝える資料を見学する児童

### 勇足中学校



召集令状(赤紙)の説明を受ける勇足生徒たち

勇足中学校(上田禎子校長・16人)の全校生徒が7月15日、資料館職員より本別空襲の説明のほか、三枝金作さんより、召集令状(赤紙)が届くといやと決まらないうち時代だったと説明を受けました。また、語り部の会では、子供だったときの貧しい生活や何もない当時の遊びなどの話を聞き、物や食べ物の不足していた時代の暮らしについて学びました。

### 昔の食事を通じて、今の生活の豊かさを実感

各学校の見学の最後には、戦争中の食生活を再現した、白米にイモとおし麦、いなぎびを混ぜ一緒に炊いた「イモ・雑穀ご飯」や、アカザで作った「雑草のおひたし」を試食しました。生徒、児童らは、おいしいと笑顔を見せたり、「味がしない」「匂いがきつい」などと感想を述べ、戦争中の貧しい暮らしや今の生活の豊かさを実感しました。



勇足中学校生徒

勇足小学校児童

本別中央小学校児童

# ほんべつ

# 肉まつり2014



**本別産和牛焼き肉の香鼓**

このイベントは、町内外で生産された肉を多くの人に味わってほしいと企画、実施されたもので、昨年に続き2回目。オープニングセレモニーでは、小笠原実行委員長が「本別でもこれだけおいしい肉がある。ぜひ楽しんで行ってください」とあいさつを述べました。時折雨が降る空模様の中、会場では本別産の黒毛和牛や豚肉、白糠漁港海産物等を販売するブースは盛況を見せ、来場者は約400台用意された焼き台で、肉や野菜、魚介類などを焼いて味わったほか、ステージで行われた農業O×クイズやライブショー等のイベントに歓声を上げていました。最後は豆やビールなど豪華景品が当たる抽選会も行われ、子どもから大人まで大勢の人が見て、食べて、飲んで楽しい1日を過ごしました。



焼き肉を楽しむ来場者

「ほんべつ肉まつり2014」(実行委員会主催)小笠原徹実行委員長が7月20日、本別公園で開催され、町内外から訪れた家族連れや友人同士など約1400人の来場者が、地域で生産された和牛や豚肉などの焼き肉を満喫しました。

# 新たに選ばれた銘木10選を紹介

## 井出神社のケヤキ(2本)

明治36年、入植者の人々により神社が建立され、その頃に本州から持ち込み植栽されたとみられています。

二本のケヤキの木が添うように雄大に立っており、推定樹齢は100年以上、それぞれ高さは23mと24m、幹回りは237cmと360cmとなっています。



**銘木10選**  
樹種 ケヤキ 推定樹齢 100年以上  
所有者 井出ヨシ子 平成26年6月 設置  
本別町林業グループ

## 高田氏宅のキタコブシ

花の咲き具合がとてきれいで枝振りが良いことから選定されました。明治42年に軍馬補充部が開設された時に植栽されたとみられています。その後、軍馬補充部は閉鎖され建物は拓農小学校になりましたが、その間も地域のシンボルとして大事にされてきました。



**銘木10選**  
樹種 キタコブシ 推定樹齢 100年以上  
所有者 高田 潤子 平成26年6月 設置  
本別町林業グループ

問い合わせ 農林課 林務耕地整備担当 ☎22-8126

# 国民年金 コーナー

## 年金後納制度 のご利用を

その148

後納制度は、納付月数が足りずに年金受給権が無かった人、年金受給権はあるが未納期間があるため支給額が少ないことが想定される人などを救済するため、過去に納めていなかった年金保険料を納められるようにしたものです。

未払いの年金を過去10年までさかのぼって納付することが可能で、平成24年10月から平成27年9月まで3年間のみの制度となっています。今年度、25年以前の保険料を納付する場合の保険料額は次の通りで、3年以上さかのぼって納付する場合は、当時の保険料に加算額が上乗せされます。



### 平成26年度 年金後納制度保険料(月額)

後納対象年度	後納保険料額	うち加算額
平成16年度	14,750円	1,450円
平成17年度	14,790円	1,210円
平成18年度	14,840円	980円
平成19年度	14,880円	780円
平成20年度	15,000円	590円
平成21年度	15,070円	410円
平成22年度	15,340円	240円
平成23年度	15,130円	110円
平成24年度	14,980円	0円
平成25年度	15,040円	0円

後納制度を利用できる人には、制度開始当時(平成24年度)に年金機構から通知文が送付されていますが、気になる人は「ねんきんネット」を利用して、ご自分の年金記録を確認しておきましょう!

「ねんきんネット」の利用は役場の窓口でも可能ですので、利用をご希望される人は、左記へご連絡ください。

詳しくは  
住民課戸籍年金担当へ

☎22-8128

# 変わる「保育所・幼稚園等」の新制度

待機児童の減少や幼児期の学校教育、保育の充実を目的として国が定める「子ども・子育て支援法」が平成27年4月より本格施行されるのに伴い、平成27年度入所分から保育所や幼稚園等

①「保育の必要認定」により  
保育の利用決定をします

幼児が保育所や幼稚園等を利用する際、平成27年度入所分から保育の必要に応じた認定を行い、次の区分により利用できる施設を決定します。

所分から保育所や幼稚園等に関して大きく変わる2つのポイントについて紹介します。

- 1号認定  
保護者が教育を希望する3歳から5歳までの子ども  
〔利用施設〕幼稚園※1、認定こども園※2
- 2号認定  
保護者の仕事や疾病等により保育を必要とする3歳から5歳までの子ども  
〔利用施設〕保育所、認定こども園※2
- 3号認定  
保護者が仕事や疾病等により保育を必要とする0歳から2歳までの子ども  
〔利用施設〕保育所、認定こども園※2、地域型保育事業※3



- ※1 子ども・子育て支援制度が適用される幼稚園のことで、適用を受ける幼稚園になるかならないかは幼稚園事業者が選択します
- ※2 認定こども園とは、幼稚園、保育所および子育て支援拠点の機能をあわせもった施設です
- ※3 地域型保育事業とは、一定の基準を満たし町が認定した施設で、小規模保育（定員が6〜19人）、家庭的保育（保育者の自宅等を利用した定員5人以下）、居宅訪問型保育（ベビシッターなど）等を行います

## ② 保育を希望する要件が見直しされます

平成27年度の保育所入所分より保護者が保育を希望する要件としての項目が見直され、就労で今まで保育の対象とならなかったパートタイムや夜間就労者の子どもが保育可能になったほか、保護者の求職活動や就学、虐待やDVのおそれがある場合に子どもの保育利用ができるように要件が追加されました。

- 現行の保育希望要件
- 以下のいずれかの事由に該当し、かつ、同居の親族その他の者が当該児童を保育することができないと認められること
  - ①就労 昼間労働することを常態としていること
  - ②妊娠・出産
  - ③保護者の疾病、障害
  - ④同居親族等の介護
  - ⑤災害復旧
  - ⑥その他、上記に類する状態にあること

- 新制度における保育希望要件
- 以下のいずれかの事由に該当すること
  - ※同居の親族その他の者が当該児童を保育することができる場合、優先度により保育を決定します
  - ①就労 フルタイムのほか、パートタイム、夜間など基本的にすべての就労に対応（一時預かりで対応可能な短時間の就労は除く）
  - ②妊娠、出産
  - ③保護者の疾病、障害
  - ④同居親族等の介護
  - ⑤災害復旧
  - ⑥求職活動 起業準備を含む
  - ⑦就学 職業訓練校等における職業訓練を含む
  - ⑧虐待やDVのおそれがあること
  - ⑨育児休業取得時に、既に保育を利用している子どもがいて継続利用が必要であること
  - ⑩その他、上記に類する状態として市町村が認める場合

本別町にある保育所や幼稚園の体制やサービスの内容など、具体的な内容は現在検討を進めています。本町で利用できるサービスや利用方法などは、決定次第このシリーズでお知らせします。

★子ども七夕まつりを開催します★

8月3日（日）午後4時より、「子ども七夕まつり」を開催します。食のコーナーでは、温かいうどんやそば、焼きそばやフランクフルト、かき氷などを販売します。遊びのコーナーでは、ヨーヨーつりやおもちゃくじなど、楽しい催しをご用意していますので、お友達をお誘い合わせのうえ、多くの方の参加をお待ちしております。詳しいことについては、8月1日号広報本紙折込チラシをご覧ください。

お問い合わせ 子ども未来課 子ども・子育て支援担当 ☎22-8130

## 白糠町からの お知らせ

### 2014年茶路まつり

このイベントは「何も無い自然の中で、ゆったり過ごしてみよう。この素晴らしい環境を身近に感じてもらいたい。」という思いで始まりました。

音楽鑑賞やのどかな羊のレースなど、皆さんも自然の中で心地よい一日を過ごしてみませんか。

とき 8月24日（日）  
午前10時～午後2時

ところ 白糠町上茶路  
「白糠町青少年旅行村」テントサイト

主な催し物

NHK連続テレビ小説「花子とアン」の等身大パネルほかNHKキャラクターと記念撮影会、クラシック音楽ユニット「フレイモ」の生演奏、白糠吹奏楽団「木漏れ日コンサート」、羊レース、羊の丸焼き、オール白糠産具材のご当地カレー、手作りピザ、牛乳試飲会など

羊レースの様子

### 白糠町青少年旅行村のイベント紹介

白糠町青少年旅行村「驚きの森」では、キャンプ場利用のほか、四季を通じてさまざまな自然体験学習を予定していますので、皆さんのご利用をお待ちしています。

- 「驚きの森」2014年度のスケジュール
- 8月17日（日）ブルーベリージャムづくり
  - 8月24日（日）茶路まつり
  - 8月31日（日）ブルーベリージャムづくり
  - 9月28日（日）野鳥観察会
  - 10月5日（日）旧国鉄白糠線廃線ウォーク
  - 10月下旬 野鳥観察会
  - 12月〜2月 エゾモモンガ観察会
  - 3月 メイプルシロップ採取体験 ほか

ブルーベリージャムづくり

お問い合わせ  
白糠町青少年旅行村  
☎01547-2-7122



各学校の手作りページ

# HELLO 勇足中学校

## 勇足中学校教育目標

- (知) 創造性豊かで高い知性を養う
- (徳) 豊かな人間性を育てる
- (体) 強靱で粘り強い体を鍛える

# 瞳を輝かせて自己に挑戦する生徒



新たな決意を感じる入学式



授業参観：音楽『琴』



体育：新体カテスト20mシャトルラン



技術：JA青年部と椎茸栽培



食育：さつまいも栽培



生徒総会：副会長から進行確認



昼の歯磨き：虫歯なし84%



不審者対策訓練：護身術

## 土魂風才

勇足という土地の持っている精神や特色と教職員（経験・実践力・ネットワークを生かすこと）や外部講師等、他からの風を融合した勇中ならではのより良い教育活動を推進してまいります。

## 白熱したゲームを展開 6/22

第17回町民ゴルフ大会（実行委員会主催）が6月22日、アリスト本別ゴルフ倶楽部で開催されました。参加者77人は、交流を図りながらも白熱したゲームを展開。3番ホールでは、今年も1打でグリーンに乗らなければ募金するチャリティーホールが設けられ、集まった75,122円は、町スポーツ振興基金に寄付されました。成績は次の通り。

- 優勝 = 荒木富士子 さん
- 準優勝 = 岡田 清信 さん
- 第3位 = 佐伯恵美子 さん

### 〈ベストグロス〉

- 男性 = 鎌田 國夫 さん (77打)
- 女性 = 荒木富士子 さん (89打)



## 植樹を通して 樹木の大切さを学ぶ 6/20

勇足小学校（吉藤清孝校長）の5・6年生15人が6月20日、本別町森林女性グループ「ももんの森林」（助川早苗会長）会員4人のサポートのもと、同校敷地内で植樹を実施しました。この取り組みは、森林学習の一環として行われたもので、児童らは、事前に教室内で十勝総合振興局森林室足寄事務所職員より森の働きについて説明を受けた後、エゾヤマザクラの苗木を植え、森林の役割や樹木の大切さを学びました。



## 本番さながらの避難訓練 6/20

勇足中学校（上田禎子校長・16人）が6月20日、不審者侵入時の緊急事態を想定した避難訓練を実施しました。訓練では、授業中の校内に刃物を持った不審者役の本別警察署員が侵入。先生らが連携し、生徒の安全を第一に侵入者確保、生徒の避難までの一連の動作を本番さながらの動きで確認しました。訓練終了後には、同校体育館で同署員による防犯教育も行われ、見知らぬ人につかまれたときなどの護身術を、先生と生徒一対一となり実践で学びました。



## 町長とそらの会が懇談 6/26

町民と町長との直接対話「町長がおじゃまします」が6月26日、そらの会（障がいをもった子を持つ親の会）会員など15人が参加し、愛の里交流センターで開催されました。前段、高橋正夫町長がこれまでの障がい者福祉政策の取り組み状況や障がいを持った人でも就労できる場の確保に努めたいと説明。参加者からは、「特別支援学校の誘致や就労の場の確保、グループホームの設置など、本別町で生まれた誰もがこの町でずっと暮らせるような環境づくりをお願いしたい」などと要望が出されました。



## 食の安全について 危機感を持ちました 7 4

本別町営農対策協議会（会長＝高橋正夫町長）主催による食の安全についての映画、「世界が食べられなくなる日」上映会が7月4日、中央公民館で開催されました。前段、高橋町長から「TPPにより食品の産地表示などができなくなり、今までの食の安心安全が危うくなる」と挨拶。映画では、遺伝子組み換え作物栽培で農薬の多用により、農家や輸送従事者が増えている状況や、動物実験で体に及ぼす影響などをドキュメンタリーで伝えました。来場した約200人は、食の大切さや、TPPが生活に及ぼす影響について、危機感を持ちました。



## 勇中携帯授業 7 1

勇足中学校（上田禎子校長・16人）が携帯電話会社職員を講師に迎え7月1日、全校生徒および保護者を対象にケータイ教室を実施しました。携帯電話会社職員は、実際にあった犯罪事例を交えながら、スマートフォンや携帯電話はコミュニケーションを取るのに便利な反面、インターネット上に掲載したデータは半永久的に残り、安易な気持ちで使うと被害者、加害者になる可能性があるとの説明。生徒らは、真剣なまなざしで聞き入り、スマートフォン等の利用方法について理解を深めました。



## 命の尊さに涙 7 3

映画「うまれる」本別上映会（とち「うまれる」プロジェクト実行委員会チーム★元気くん主催）が7月3日、中央公民館で開催されました。この上映会は、小さな子を持つ町内のママたち7人が、この映画を多くの人に見てもらいたいとの思いから、本別での上映に向けチームを結成し実現したものです。映画は、4組の夫婦と赤ちゃん誕生の出来事を伝えるドキュメンタリー。上映は親子で見れるファミリータイムと一般上映会の2回行われ、会場を訪れた親子や家族連れなど約200人は、出産の苦勞や喜びに時折涙を流しながら共感し、命の大切さや家族の絆を心に刻みました。



## 花壇整備に汗 7 7

共栄自治会（島田敏会長）の会員9人が7月7日、観光情報センター前の花壇整備を実施しました。この活動は6月に帯広開発建設部等より補助を受け植えた花をきれいな状態で、観光客など町を訪れた人の目を楽しませようと、秋まで毎月第1日曜日に行われます。会員たちは、雑草やゴミなどを丁寧に取り除き、爽やかな汗を流しました。



## 家族と 楽しいひととき 6 29

毎年恒例のアメニティ本別（長谷川賢理事長）大運動会が6月29日、入所者や家族など147人が参加し同施設内で開催されました。今年もアメニティ施設スタッフが趣向を凝らした競技を企画。入所者らは、行われた競技に満面の笑みを浮かべ、家族とともに楽しいひとときを過ごしました。



## 夜でかけナイト 6 27

第35回夜でかけナイト（実行委員会主催）が6月27日、北1丁目から北4丁目商店街で開催されました。カラオケ大会や抽選会など多くの催し物が行われたほか、焼き鳥やビールを提供する屋台、金魚すくいなども出だし、家族連れなど多くの人でにぎわいました。



## 農大祭 6 29

第41回農大祭（実行委員会主催）が6月29日、北海道立農業大学校（加藤和彦校長）中庭で開催されました。会場では焼き肉用の農大産和牛や仙美里ヶ丘ブランドのアイスクリーム、ソーセージ販売のほか、学生による焼きそばやかき氷など多くの食べ物、飲み物のお店が出だし、完売する商品も続出するなど、大盛況を見せました。また、腕相撲大会や農場ツアーなども行われ、町内外から訪れた来場者が楽しい1日を過ごしました。



## 本別公園内の景観が 良くなりました 6 30

本別林産振興会（齋藤元一会長）が6月30日、本別公園内園路沿いにシャクナゲ11本を植えました。本別公園内の景観を良くし訪れた人を快く迎えるようにと実施されたもので、参加した会員8人は、手際よく丁寧に作業をしました。



## 無事故を願って

6 25 7 3・11・15

交通安全母の会（田西喜代会長）会員5人が6月25日の無事故の日に合わせて6月25日、商工会女性部（新津直子部長）の部員9人が7月3日、老人クラブ連合会（野中栄一会長）の会員40人が7月11日、北8丁目ふれあい公園で交通安全キャンペーンを行いました。各会員らは、道行くドライバーへ「安全運転お願いします」「居眠り運転に気を付けてください」などと話しながら交通安全啓発チラシやお菓子などを手渡し、交通事故の防止を訴えました。また、7月15日には交通安全指導員（宮崎統会長）の指導員9人が、町内3小学校の児童に夜光反射材をプレゼントし、登下校時の交通安全を呼び掛けました。



交通安全母の会



商工会女性部



老人クラブ連合会



交通安全指導員

## ゲートへ一直線

7 16



第33回町長杯争奪高齢者ゲートボール大会が7月16日、銀河アリーナで開催されました。競技は、2ブロック制で予選リーグと決勝トーナメントの全12試合。出場した町内のゲートボール愛好者から8チーム38人の選手は、真剣な表情でスティックを構えるとゲートへ一直線にボールを運ぶ巧みな腕前を披露し、日ごろの練習の成果を競い合いました。成績は次の通り。

優 勝＝星流  
 準優勝＝カトレア  
 第3位＝バラ

## 心地よい リズムに すやすや

6 23 7 14

家庭教育支援事業「なかよし」による、ママとベビーのリズムダンスが6月23日、健康管理センターで行われました。ベビーダンスとは、ママが抱っこひもを使って赤ちゃんを抱きながら音楽に合わせて体を動かすもの。参加した11組24人の親子は、インストラクターの小林永枝さん指導のもと、リズムカルな曲に合わせてステップを踏んだり腕を動かすなどダンスを楽しみ、ママの胸に抱かれた赤ちゃんは、ママのぬくもりと心地よい揺れで、すやすや眠っていました。また、7月14日には同センターで骨盤ケアの講座も行われ、参加した町内で子育て中のママ8人は、講師の助産師三浦智奈美さんから、骨盤の仕組みなどの説明を受けながら、簡単なストレッチに挑戦し、リラックスしたひとときを過ごしました。



ママとベビーのリズムダンス



骨盤ケア

## はつらつダンスを披露

7 12

本別高校（児玉佳範校長、168人）学校祭恒例の仮装行列・パフォーマンスが7月12日、役場前駐車場で行われました。生徒らは、手作りの色鮮やかな衣装を身に同校から同駐車場までパレードした後、各クラスさまざまなテーマに合わせ躍動感あふれるはつらつとしたダンスや演技を披露。応援に駆け付けた家族や知人等多くの来場者から、発表が終わるたびに大きな拍手が送られました。



## パークゴルフで 交流を深める

7 13

本別町技能士会（近藤広美会長）主催による、技能士親睦パークゴルフ大会が7月13日、義経の里パークゴルフ場で開催されました。参加した本別町と幕別町の技能士会員20人は、暑い日差しの下で、日ごろの仕事を忘れるほど真剣にプレーし、パークゴルフと焼肉を楽しみながら仲間との交流を深めました。本別町技能士会は、町内の技能者14人で組織され、会員の技能や技術の向上と、産業経済発展のための各種事業に日々取り組んでいます。



# 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんのお愛に包まれてすくすく元気に育ってね!



北の丁目  
水城  
航くん  
(利佳ママ)



勇足元町  
狭間雪乃ちゃん  
(美鈴ママ)

## 婚活イベント「会おうよ、語ろうよ、イタリアンで!!」のお知らせ

本別出会いプロジェクト実行委員会では、独身男女に明るく楽しい出会いの場を提供する「会おうよ、語ろうよ、イタリアンで!!」を開催します。

- と き 8月28日(木) 午後6時30分～
- と ころ ゲンキッチン
- 内 容 ポモドーロスパゲッティの調理、試食交流  
※試食交流は道の駅「ステラ★ほんべつ」内多目的ホールで行います
- 講 師 レストランエゾウ シェフ 黒田智恵子さん
- 対 象 独身の男女 定 員 20人程度
- 会 費 1,500円 申込期限 8月22日(金)
- その他 エプロンはこちらで用意します
- 申し込みおよび問い合わせ



料理の苦手な人でも、気軽に参加できます! 皆さんのお越しをお待ちしています!

本別出会いプロジェクト実行委員会 (代表 朝日基光)  
事務局 野田 仁 ☎090-3115-5864

## ご寄付ありがとうございます 平成26年6月18日から7月15日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかき添えて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

- ★本別町中央公民館指定  
囲碁のセット3組 …… 新町 庄司ユリ子
- ★本別町特別養護老人ホーム指定  
金200,000円 …… 勇足西3 金子茂義
- ★本別町スポーツ振興基金指定  
金75,122円 …… 本別町民ゴルフ大会実行委員会  
委員長 岡崎 勉

- ★本別町農業振興基金指定  
金10,000,000円 …… 本別町農業協同組合  
代表理事組合長 田中敏行
- ★本別町高齢者福祉振興基金指定  
金50,000円 …… 中札内村 高桑 浩

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付  
★町長が必要と認める事業  
金100,000円 …… 東京都 小池美記子



# みんなの健康

360



今回は高血圧症の管理についてお話をしたいと思います。診断の際しましては、最高血圧が140以上、最低血圧が90以上を高血圧といえます。高血圧に肥満、代謝異常、脂質異常、高尿酸血症などを合併された場合について、いずれの病態でも、一番関わりがあると考えられるのは肥満です。まず減量していただく事が重要だと思います。減量の方法はカロリー制限と運動の2つがあります。大切な事は急に大幅な減量

## 高血圧症の治療

を目指すことよりも、ゆっくりと、まず4〜5kgやせていけば、ある程度代謝異常も血圧も改善していきます。それぞれの疾患ことでは、まずコレステロールが高い人は、コレステロールの多い卵等の食品、あるいは飽和脂肪酸の多い食品を控えていただきます。中性脂肪の高い人でお酒を飲まれている人には、節酒していただきます。高尿酸血症や痛風の人は、お肉やレバーなどのプリン体の多い食品や甘いものを控えていただきます。大切なことは、お肉やレバーなどのプリン体の多い食品や甘いものを控えていただきます。大切なことは、お肉やレバーなどのプリン体の多い食品や甘いものを控えていただきます。大切なことは、お肉やレバーなどのプリン体の多い食品や甘いものを控えていただきます。

本別町国民健康保険病院  
医長 磯村泰之

# 銀河ホップアラウンド

## 足寄町

第35回

## 足寄ふるさと盆踊り 両国花火大会

盆踊りや花火大会などさまざまな催し物で皆さんをお迎えます。ぜひご来場ください。

と き 8月15日(金)  
午後3時30分～

と ころ 町民センター駐車場および周辺



口内 容

- 午後3時30分〜こども縁日
- 午後5時30分〜みんなで楽しむ足寄音頭(子ども盆踊り)
- 午後6時 一七ちまき
- 午後6時15分〜仮装盆踊り・素踊り
- 午後7時15分〜両国花火大会
- 午後8時15分〜仮装盆踊り審査発表・表彰式
- 午後8時25分〜お楽しみ抽選会

※時間は変更になる場合があります

口 詳 細  
足寄町役場経済課林業商工観光室  
☎2512141 内線241

## 陸別町

## 「りくべつ」低温殺菌牛乳

「りくべつ」低温殺菌牛乳は今年5月から1年度製造を行い、道の駅内の陸別観光物産館で販売しています。低温殺菌ならではの牛乳本来の豊かな風味をお楽しみください。



口こ ね からの販売日  
平成26年8月29日、9月26日、10月24日、11月28日、12月19日  
平成27年1月23日、2月6日、3月19日

口 価 格  
大型ボトル(900ml) 450円  
小型ボトル(200ml) 150円

口 予 約 ・ お 問 合 せ  
陸別観光物産館 ☎2712012

# 本のある暮らし 161

# 読みきかせに伺います

## 戸籍のまど

### お誕生

6月後半から7月前半の届出分

- 水野 杏<sup>あんちん</sup> 正樹<sup>まさき</sup> 6/9 向陽町
- 渡會 ころ<sup>ちん</sup> 一也<sup>いち</sup> 6/15 勇足西5
- 中尾 一護<sup>いちご</sup> 拓巳<sup>たくみ</sup> 6/17 山手町
- 吉川 華<sup>はな</sup> 架<sup>か</sup> 弘晃<sup>ひろあき</sup> 6/24 勇足元町
- 富川 颯<sup>そつ</sup> 大<sup>だい</sup> 寛弘<sup>かんひろ</sup> 6/25 南4丁目

### ご結婚

- (小原 祐太<sup>すけだ</sup> 柳 町
- 牛腸 彩佳<sup>さいか</sup> 柳 町

### おくやみ

- 山崎フサ子<sup>ふさこ</sup> 96歳 6/20 仙美里町
- 鈴木國夫<sup>くにお</sup> 76歳 6/21 新 町
- 守屋君子<sup>きよこ</sup> 71歳 6/21 共 栄
- 高桑ミツ子<sup>みつこ</sup> 80歳 7/1 勇足元町
- 中村ナツ卫<sup>なつゑ</sup> 101歳 7/9 北4丁目
- 藤原常雄<sup>つねお</sup> 81歳 7/10 北3丁目
- 藤岡嬉畏子<sup>きりこ</sup> 83歳 7/14 北3丁目

## わたしたちのまち

前月比  
 人口 7,794人(-5)  
 男 3,844人(+1)  
 女 3,950人(-6)  
 世帯数 3,766戸(-4)  
 [6月末日住民基本台帳]

～図書館ボランティア「ぶっくる」が読みきかせレポート～

図書館ボランティア「ぶっくる」では、町内施設や小学校などに伺い、たくさんの読みきかせをしています。野外でも行っていますので、気軽に声をかけてください。

### アメニティ本別



大型絵本の読みきかせのほかに、懐かしの歌を一緒に歌うと、お年寄りには元気に手拍子をして大盛り上がり！毎月1回のぶっくるとの交流を心待ちにしています。

お年寄りもびっくりに大きな絵本！

### 町内小学校

絵本と紙芝居の読みきかせに、ブックトークや児童に人気のある頭の体操クイズなどを交えて楽しい授業を行います。



どんなお話がはじまるのかな？

### どうわかん



図書館で、毎月第4金曜日の午前11時から行っている「どうわかん」。読みきかせを通じて、赤ちゃんとお母さんとの楽しい時間を過ごします。

絵本は、楽しいよ。赤ちゃんもお母さんも笑顔に♪

図書館ボランティア「ぶっくる」では、「お話し会」や「朗読会」を開催し、多くの町民の皆さんに、本に触れ、本の楽しさを知ってもらいたいと思っています。毎月第2、3、4木曜日の午後1時30分から朗読の練習を図書館で行っていますので、興味のある人は一緒に楽しんでみませんか。

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
 (愛称:ぶっくる一丸)  
 本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112